

平成29年10月（第13回）光市教育委員会会議の要旨

1 開催日時

平成29年10月30日（月） 午前10時00分～午前11時30分

2 場 所

光市教育委員会 2階会議室

3 出席委員

能美教育長、永岡委員、河村委員、寺崎委員、中西委員

4 事務局

教育委員会事務局：蔵下教育部長、和田学校教育課長、奥屋学校教育課主幹、弘文化・社会教育課長兼人権教育課長、村崎体育課長、穂山図書館長、太田教育総務課長、清水学校給食センター所長、影土井教育総務課経理係長

5 教育長報告

- (1) 人間国宝山本晃氏による特別授業について
- (2) 市民体育大会について
- (3) 市美術展について
- (4) 山口県中学校体育大会（秋季県体）について

6 議 事

(1) 議案及び報告

ア 議案第25号 光市教育委員会選奨規程の一部改正について

(ア) 概 要

光市教育委員会選奨規程の一部改正について、事務局より報告。

(イ) 内 容

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、文言等を修正するもの。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

イ 議案第26号 光市学校教育法施行細則の一部改正について

(ア) 概 要

光市学校教育法施行細則第6条第1項に第6号として、「家庭及び地域における体験的な学習活動その他の学習活動のための休業日。光市教育委員会が「体験的学習活動等休業日」として定める日」を追加記載するため、本案を提出。

(イ) 内 容

学校教育法施行令の一部を改正する法律の施行に伴い、保護者の有給休暇の取得促進と合わせ、長期休業日の一部を学期中の授業日に移すなど、児童生徒と保護者がともに体験的な学習活動等に参加することを通して、心身の健全な発達の促進を期待するもの。

(ウ) 議 決

全員一致で承認される。

ウ 報告第41号 平成28年度主要施策の成果について

(ア) 概 要

平成28年度主要施策の成果について、事務局より報告。

(イ) 内 容

概要のとおり。

(ウ) 主な意見や質疑

① 意 見

9月に教育委員会事務局がまとめた報告書は、教育委員会事務事業評価結果であったか。

② 回 答

そのとおりである。各事業別に事業を評価した報告書である。

①-1 意 見

主要施策の成果と事務事業評価結果は、同時進行で策定されているのか。

② 回 答

基本的には同時期に策定作業を行っている。

①-2 意 見

以前、「事務の簡素化の視点から、似通った報告書や事業等は整理する必要がある」という議論があったように思う。そうした理由から、このような質問をさせていただいた。重複する内容については見直すなど、今後とも事務の効率化、簡素化の視点や意識を持っていただきたいと思う。

① 意 見

放課後児童クラブの管理運営事業についてであるが、近年、対象児童が拡大され、児童の安全と保護者の安心が確保されてきたと思う。また、延長保育の利用者も増加してきている。受入れの対象が広がったこと、平日も19時まで延長保育を実施するなど、子育て家庭の安全・安心に繋がってきている。平成29年度からは全ての児童が対象になったので、成果は更に上がるものと感じる。

② 回 答

子育て家庭への支援と児童の安全・安心な居場所づくりを目的に、今後も事業拡大の中で待機児童ゼロに引き続き努めてまいりたい。

① 意見

中学生リーダーの登録者数が相当減っているように思うが、その理由について教えていただきたい。また、図書館のレファレンスサービスについても件数が減っているが、これは新たなシステムを導入した影響なのか。原因をお教えていただきたい。

②-1 回答

中学生リーダー、ジュニアリーダーについては、ご質問のとおり、登録者はかなり減ってきている。しかし、参加率では、平成27年度から28年度でかなり上昇しており、参加人数は基本的には変わっていない状況がある。評価の数値として登録者数を250人としているが、今後は、参加率を評価対象にすることも検討が必要と考えている。引き続き、中学生リーダー・ジュニアリーダーの登録についてPRしていくとともに、参加率についても注視していきたいと考えている。

②-2 回答

ご質問のとおり、新たなシステムの導入により、本の検索が容易になったことも理由の一つと考えている。入館者数や貸出点数も伸びてきており、本の検索だけではなく、調べものなど様々な対応が求められており、職員の資質向上を図るとともに、図書館機能の一つとして、レファレンス件数も上げていきたいと考えている。

②-3 回答

中学生リーダー、ジュニアリーダーについては、東日本大震災の際に全国的にボランティア活動の機運が高まった。そうした中で、生徒の間でも関心が高まり、活動に参加する生徒が増えたように感じている。現在の数値は、それ以前の数値に近づいているものと思う。

エ 報告第42号 光市教育振興基本計画（案）について

（ア）概要

光市教育振興基本計画（案）について、事務局より報告。

（イ）内容

概要のとおり。

（ウ）主な意見や質疑

① 意見

大変良くまとまっていると思う。重点施策と事務事業評価結果の内容の多くが反映されることになるか。

② 回答

重点施策については、教育振興基本計画が策定された後には、その内容を踏まえ、策定していくことになると思う。

① 意見

毎年策定する重点施策の中核になるというイメージでよいか。

② 回答

そのようにご理解いただきたいと思う。

① 意見

家庭教育支援チームの設置とあるが、どのような内容か。

②-1 回答

家庭教育支援チームについては、県からも各市町に設置が求められているが、今年度からモデル的に取り組んでいる。今年度は島田小学校区において、家庭教育について保護者が気軽に相談できる体制づくりに努めている。

②-2 回答

家庭教育支援チームについて、県教委は2タイプを示している。市全体でチームをつくり、各小学校区へ派遣して家庭教育を支援するタイプと、学校区単位ごとにチームをつくり、校区内の保護者を支援するタイプである。光市は後者を目指している。

オ 報告第43号 平成29年度光市一般会計補正予算（第2号）について

（ア）概要

平成29年第3回光市議会定例会において、教育費の補正予算が可決された内容について、事務局より報告。

（イ）内容

別紙「平成29年度光市一般会計補正予算（第2号）（教育費関係抜粋）」のとおり。

カ 報告第44号 区域外就学の承認について

（ア）概要

区域外就学の承認について、事務局より報告。

（イ）内容

区域外就学の協議及び申請のあった5名を承認したことについて報告するもの。